

平成30年度「だしで味わう和食の日」企画実施協力をお願い

平素より、一般社団法人和食文化国民会議（略称：和食会議）の活動にご理解、ご協力を賜りまして誠に有難うございます。厚く御礼申し上げます。

私ども和食会議は、ユネスコに登録された和食文化の保護・継承に責任を持つ唯一の民間団体として、和食文化を次世代へ継承するため、農林水産省をはじめ関係各省庁と連携しながら、その価値を国民全体で共有する活動を展開しています。その活動の大きな柱として、私どもが制定し、全国的に定着しつつある11月24日「和食の日」を中心に和食給食の提供を推進する「だしで味わう和食の日」という企画を、平成27年より全国の小・中学校、保育所等を対象として実施してまいりました。3年目となりました昨年は、内容を充実させ、規模も拡大し、全国で約6,500校（157万人）にご参加いただくことができました。4年目である本年は、この運動をさらに大きくするため、従来の農林水産省に加え、文部科学省の後援もいただき、全国の都道府県や政令指定都市の関係各部署、市区町村の教育委員会、子育て支援課等保育所ご担当部署を対象に周知、協力要請活動を開始致しました。

「和食」のユネスコ無形文化遺産登録以降、国内外で和食が話題に上る機会が大変多くなりました。また、次期学習指導要領にも「だし」「和食」の重要性が改めて強調され、学校教育の場でも和食の価値を改めて認識する機運が高まっています。そのような環境がある一方、家庭において、伝統的な和食文化を伝えることが非常に難しくなっているのが現状で、学校給食の果たす役割は非常に大きくなっているといえましょう。さらに、幼少期は食の大切さを学ぶ上でも、また味覚形成の上でも大変重要な時期です。この時期に本物の「だし」のうま味を体感することは、幼い頃の記憶として鮮明に残り、和食文化に興味を持つきっかけにもなります。

具体的な内容につきましては、同封のパンフレット及び資料サンプルをご覧ください。ホームページにも順次掲載いたします。その中で特にお願いしたいことは、お取りまとめの上でお申し込みいただくことです。自治体、給食センター等の括りで、取りまとめでお申し込みいただいた場合は、カラー印刷した子ども用兼家庭用資料を、必要枚数ご指定の場所に一括配送致します。ホームページに掲載しております取りまとめ申込みフォームをダウンロードの上、入力いただきメールでお申し込みください。

<https://washoku.japan.jp/dashi-document/>

和食会議では今後もこのような機会を毎年、継続的に作ってまいります。趣旨をお汲み取りいただき、「だしで味わう和食の日」企画の実施に向け、ご協力賜りますようよろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。

平成30年5月

一般社団法人和食文化国民会議

会長 伏木 亨